

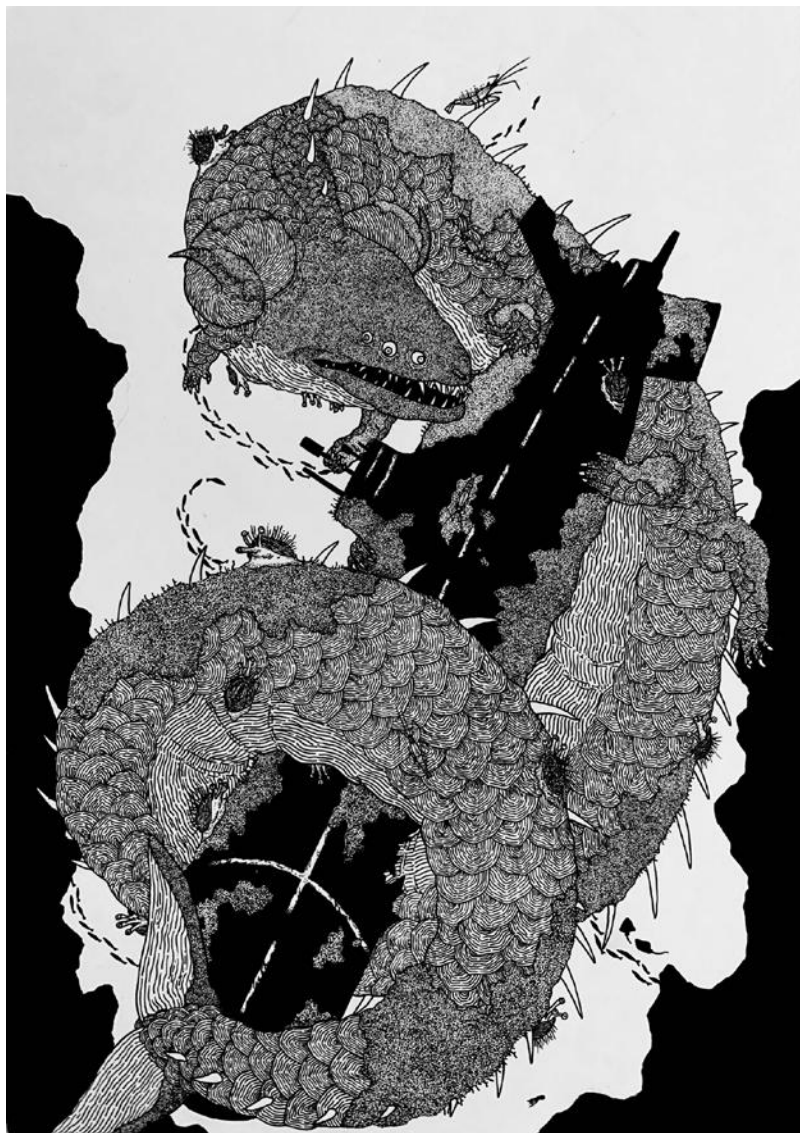
Alumni Association Report

日本大学芸術学部校友会報

105

2020

秋 季 号



8つのアート 1つのハート

CONTENTS

創設百周年に向けて	03
江古田会ニュース	
宮城江古田会・岡山江古田会	06
宮崎江古田会・福岡江古田会	07
熊本江古田会・福島江古田会	08
鹿児島江古田会・山形江古田会	09
佐賀江古田会・北海道江古田会	10
卒業生ストーリー「今、ここで。」	11
学科ニュース	
写真学科・映画学科	13
美術学科・音楽学科	14
文芸学科・演劇学科	15
放送学科・デザイン学科	16
日本大学芸術学部校友会各支部（江古田会）連絡表	17
編集後記	18
校友会からのお知らせ	18

■日芸祭 デザイン

(株)スタジオ・マイ▶1973年創立。03-5999-8611。ポスター、パンフレット、ロゴ等、グラフィックデザイン全般を担う。

(株)スピーチ・バルーン▶1985年、スタジオ・マイの出版部門として発足。03-5999-6911。書籍編集、展示の企画・設営等。

11月7日～12月8日まで、中野ブロードウェイ Gallery Cafe オメガにて、「三浦みつる ミューズなカフェ展」開催です。楽しいグッズも用意しています。近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

また、12月5日からは今年20周年を迎えた、石ノ森章太郎ふるさと記念館にて「マンガ家入門展」も開催予定です。



日芸祭本部実行委員会より

日芸祭は 開催中止と なります。

日芸祭本部実行委員会と、芸術学部学生課との検討の末、今年度の日芸祭は中止となりました。

また、オンラインでの実施も、制作・準備段階からの三密防止を担保できない為、中止の運びとなりました。毎年楽しみにして頂いている皆様に心よりお詫び申し上げます。来年度以降の日芸祭への参加をよろしくお願い致します。

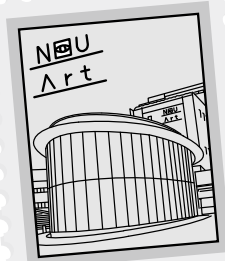




6月に開催予定を延期しておりました総会の日程が決まりました。総会後の懇親会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本年度は中止いたします。

2020 11/28^土
[令和2年]

午後5時から A棟 A102 教室



校友会総会を 開催します。



**本年度は役員改選が
ございます。**

芸術学部校友会会則第3章「役員」の第16条「役員の選出」
1.会長は各ブロックの常任幹事・幹事の互選により候補者を推薦し総会で承認する。とあります。

**議長一任の方は、同封の返信ハガキ
にご表示いただき、必ずご返送をお願い
申し上げます。**

**ご出席いただく場合に
ご注意いただきたいこと**

- 感染による影響が大きいとされるご高齢の方、基礎疾患のある方、体調のすぐれない方は、慎重なご判断をお願いいたします。
- 必ずマスク着用・建物入り口で手指の消毒、警備員による体温の測定をお願いいたします。
- 当日発熱・体調不良の方は入構をお断りすることがあります。
- 今回は会員の皆様の安全確保を最優先といたしたく、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本大学芸術学部長
日本大学芸術学部校友会会長

木村政司
田上峻詞

田上校友会会長（以下田上）：本日は大変お忙しい中お時間を頂き、感謝申し上げます。毎年恒例の学部長インタビューをさせていただきます。

田上：今年の学部長インタビュー前半は、知られざる木村学部長の人物に迫りたい！

木村学部長の生い立ちやエピソードなどを紹介、その中で人柄に触れていきたいと思っています。後半にはコロナ対策、リモート授業の紹介、そして、現在の芸術学部が抱えている課題など、日頃お聞きできない話をインタビューして参りたいと思います。

学部長（以下学部長）：ハイ、よろしくお願いします。

田上：まず初めに、学部長の近況からご紹介させていただきます。今年6月学部長に選出され、9月25日から二期目に入られます。また、

8月31日
日本大学

副学長の1年の任期を満了されました。

田上：学部長の生い立ちからよろしいでしょうか？

学部長：私は、昭和30年（1955）に千葉県松戸市に生まれました。現在、実家には88歳になる母が住んでいて、お陰さまで元気です。今、毎週日曜日に一週間分の食材を届けながら話し相手をしています。母は、山梨県甲府市生まれで10人兄妹の8女です。10人兄妹の中に双子が二組いました。

田上：10人兄妹、しかも双子が二組いらっしゃる。それは凄いですね！

学部長：昔は大家族が多かったですね。現在、兄妹は母だけになってしまいました。

田上：お父様はどんな方でした？

学部長：個人情報に突っ込んできますね～親父はもう14年前に81歳で他界しました。大正14年に長野県佐久市で生まれました。中学を卒業してすぐに上京し、自動車関係の会社で生涯を捧げた、当時としてはサラリーマンの鏡みたいな人でした。結局、副社長にまで上り詰め、定年後は、カナダ大使館で物産品を日本に紹介する事務局長を務めました。営業に人生を捧げた人でしたよ。

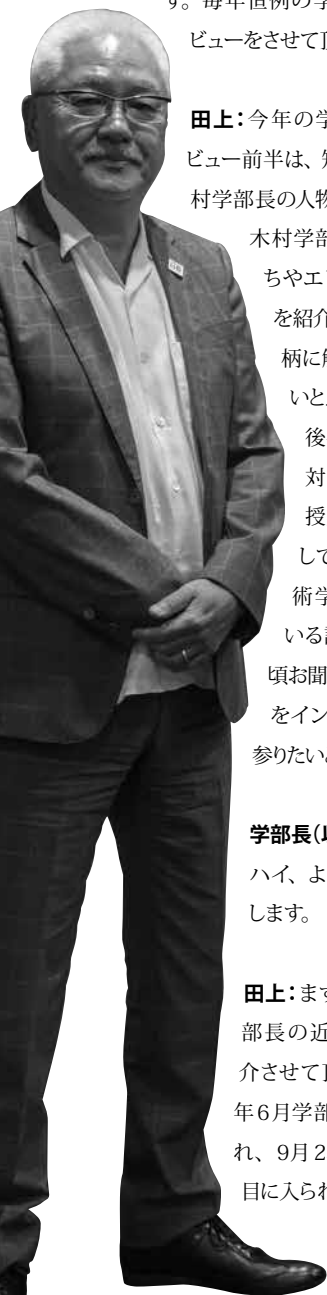
学部長：私は、小学校、中学校とも松戸です。中学校は松戸市立第一中学校。中学の後

輩に宇宙飛行士の山崎直子さんがいます。私の幼い頃は、みんなと同じ行動が出来ない大問題児でした。小学生の時はいつも一人で遊んでいましたね。童話が好きで絵本をよく読んでいました。絵

を描くことも好きだったので、美術はいつもオール5。書道は6歳から大学を卒業するまで習っていました。先生からはとても期待され、たくさんの賞を頂きました。勉強は嫌いでしたね～中
学から大学まで、ラジオの深夜放送に夢中になり、自分の描いたイラスト入りのリクエストカードを毎日書いてラジオ局に送っていました。ハガキ職人！（笑）

田上：自分のリクエストカードが読まれることが好きだった訳ですね。

学部長：ハイ、ただ投稿するだけでなく、中学3年の時にはニッポン放送のオールナイトニッポン・全国ビバ



DJ コンテストに応募して、全国大会で10位以内に入賞しました。ここから、ディスクジョッキーと洋楽の趣味にのめりこんでいました。好きが高じて、真空管アンプを製作したり、アマチュア無線の免許を取ったり、ラジオ番組を自主制作してテープをラジオ局に送っていました。

田上: のめり込み方がやばいですね。やはり只者ではない感じがします。普通は、頼まれてもいないのに自主制作番組をラジオ局に送りませんよね。

学部長: ラジオの海賊番組が流行った時代で、糸居五郎さんに憧れていました。

田上: 小さい時からモノを作ることが好きだった。

学部長: ハイ、好きでした。そして中学を卒業後、日本大学豊山高等学校に進学しました。大学進学は、母も私も芸術系は日藝しか知らなかったの、日藝しか受けませんでした。

田上: えっ、高校に入る前から日藝を目指していた？

学部長: いや、行きたかった〜日藝しか知らなかったからなあ〜

田上: そして、念願の日藝に入学。大学時代の学部長は？

学部長: 大学4年間で本当に一番楽しかった。ほんとによく勉強をしました。図書館に毎日通い、本を読み漁りましたね。日比谷図書館にはよく行きましたよ。

田上: どんな本を読まれていた？



学部長: 哲学や心理学にチャレンジしていましたね〜勿論チンプンカンプン。デザインの専門書は本当に面白かったですね〜

学部長: 大学3年の時、憧れのアメリカを目指して交換留学の試験を受けましたが、見事に落ちました。再度挑戦して4年時に合格。念願のワシントン州立大学(提携校)に一年間交換留学でデザイン、美術史、英語、そして、ゴルフ、テニス、フェンシングを学びました。

田上: いきなりアメリカに留学して、語学力は困りませんでしたか？

学部長: それほど困りませんでした〜中学の時からラジオで「百万人の英語」を聞いて英語力を養っていました。

田上: あの百万人の英語で学ぶ人がいたんですね(笑)

学部長: ハイ、中学から大学時代は、ロックが好きでローリングストーンズやシカゴ、ピンクフロイド、レッドツェッペリンなど、コピーして歌っていました。発音だけは上達したと思います。帰国して翌年の3月に卒業、卒業時には学部長賞を頂きました。卒業後すぐに、美術学科 VC デザインコースの学科アシスタントとして学部就職しました。その後、思うところあって一年半で退職。再びワシントン州立大学の大学院に

留学しました。この時のやり取りはタイプライターでしたよ。2年間で M.F.A(Master of Fine Arts) を修了しました。この時できた多くの友だちが、私の大切な財産になっています。

田上: そこら辺になると私は想像もつきません。都合3年半米国にいらっしまったのですね。

学部長: 26 歳までいました。就職より学ぶことが面白かった。帰国してすぐにフリーのデザイナーとして仕事をしました。その後、自分の事務所を浜松町に設立、学んできたことの実践として、様々な人とデザインの仕事をしました。そして、42 歳の時に恩師から声を掛けて頂き、学部教員の道に入りました。実は、学校の先生にだけにはなるなど、母から常に言われていたこともあって、教員にだけはならないと思っていました。

田上: 人生って不思議ですよ。自分の道と信じて歩んでいた道なのに、定めがあるがごとく運命に導かれ、教員になったわけですね。

田上: 先生の代表作品である昆虫のイラストは、いつごろ描いたのですか？

学部長: 昆虫を描き始めたのは、1985 年にスミソニアン自然歴史博物館にインター

ンで個人留学した時からです。これも大学院時代のつながりです。この時にナショナルジオグラフィックの契約イラストレーターにも採用されました。飛び込みで採用されたので嬉しかったですよ〜



田上: えっ、1985 年（昭和 60 年）に再びアメリカに行かれたんですか？それはびっくり。

個人情報満載、先生の生い立ちエピソードに触れて参りました。いよいよここからがインタビューの本番です。宜しくお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策 リモート授業について

田上: 皆さんもご存じかと思いますが、来年 2021 年に日藝創設百周年を迎えます。その大きな節目の中で、予期もしない感染症が流行してしまいました。今、世界中の人たちが新型コロナ感染症と闘っています。また、不幸にも感染した多くの人たちが大切な命を失っています。そして、学部はいち早く感染症対策の一環として、リモート授業に移行し感染症との闘いが始まっています。皆さん初めての経験だと思いますが、リモート授業についてお聞きしたいと思います。如何でしたかりリモート授業をやってみて。

学部長: 日藝では、4 月から各学科にご尽力を頂き 5 月から一斉にリモート授業を開始しました。全て在宅での受講となりました。初めは慣れないリモート授業で不具合

もありましたが、無事前期を終え夏期実習集中授業も対面授業とリモート授業のハイブリッド型で実施しています。感染対策を十分に行った上でなければ、学生をキャンパスに呼び戻すことはできませんでした。

それ以上に、学生の感染予防に対する自覚の強化が重要でした。逆に我々は、今回のリモート授業の導入で、沢山のことを学ぶことが出来ました。

田上: どんな事を学ばれました？

学部長: 対面授業の重要さを再確認しました。（笑）リモートでは、誰が質問しているかも画面上で表示されますし、授業を行う上で技術的な問題はありません。当初は誰もが慣れてなかったのですが、苦労したのではないのでしょうか。その後リモートによって学生や教員の心に変化が見え始めました。コロナ禍が長期化することによる心の疲弊をどう解消していくかが今後の課題だと思います。

田上: 企業のプロモーションも、今は全てオンラインでの展開になっています。

学部長: 対面で学ぶことが最も大切ですが、リモートという道がある時代に感謝しなければならいとも思います。あらゆる意味で、対面が怖い学生や教員がいて、質の高い授業を提供するためにリモートで如何に創造できるかを模索しているうちに、授業のあり方が変わっていくのを感じました。日藝は、対面でなければ成り立たない授業がたくさんあります。だからこそ、リモートも積極的に取り入れることで、モノをつくる時間が増えることは素晴らしいことです。リモート授業は、今後も継続することになるでしょう。ハイブリッド型授業の形態は、

今後確実に進みます。日藝創設百周年を機に、変わらなくてはならないと思います。同時に、ここでちょっと立ち止まり、学びのあり方、己の生き方をじっくり考えてみる時期が来ていると感じています。

芸術学部が目指す道とは

田上: 学部長は、いつもトランスフォームさせなくては行けない。トランスフォームが大切であると仰っていますね。そこで、未来の芸術学部が目指す道についてお聞きします。

学部長: また、難しい質問ですね。時代にアンテナを張り巡らせ、自ら変わることを恐れない姿勢と勇気がトランスフォームすることだといつも言っています。日藝の芸術教育をより革新的で持続的なものにトランスフォームすることを時代は求めています。組織は常に恐れず変わり続けるべきですし、一人ひとりの意識改革が重要だと思います。自主創造です。そして、日藝ブランドは卒業生たちの活躍と思いが積み重なってできています。百年の歴史はすべてを語っています。私は、未来は自分がつくる！自分が未来の芸術学部をつくる！この宣言がなければ、未来が向こうからやって来ることはないと思っています。

田上: まさに自主創造、日本大学のコンセプトですね。

本日はありがとうございました。とても興味深く拝聴させて頂きました。最後になりましたが、今後の学部長のご活躍と芸術学部の繁栄を心より願ってインタビューを終えます。

まとめ・田上竣詞
写真撮影・重松駿

「おらが町の自慢？」

宮城県と言うと皆様は何を思い出しますか？
「伊達政宗」という方が多いです。

お茶の水周辺の河川工事を伊達政宗率いる仙台藩が工事を担い、今では仙台掘と称されている。「伊達政宗」が鮭漁が盛んな宮城県亘理町を訪れた際に食べたことで広まったと言われている「はらこ飯」秋を迎えるとしみのひとつです。



仙台市で1948年に開業した「味太助」の初代店主によって、在留米軍が食べずに残っていた牛タンの活用法として「牛タン焼き」が考案された。

仙台では一年中食べる事が出来る「冷やし中華」。仙台市青葉区にある中華料理店「龍亭」で1937年に考案されたと言われています。（諸説あり）

ハンバーガー 1950年に宮城県仙台市で創業した「ほそやのサンド」が日本で最初のハンバーガーショップだと言われている。（マクドナルドの国内1号店が東京銀座に開店したのは1971年。）また仙台市で発祥したと言われている「笹かまぼこ」。「阿部蒲鉾店」が名前を考案したそうです。

一度は聞いた事があるカクテルで「レゲエパンチ（ピーチウーロン）」。仙台市国分町にあるショットバー「サウスリートカフェ」で1991年に考案されました。



今回の原稿依頼で初めて知ったのが、株式会社マナセプロダクション。「日本で2番目に古い芸能プロダクション」。

仙台市で「オリエンタル芸能社」として1946年に設立されたそうです。

宮城は、海（松島日本三景）・山（蔵王）・温泉（秋保・鳴子・作並）と1時間以内で何処でも行けちゃいます。



是非お出かけ下さ〜い!!
ー仙台市定禅寺通 ケヤキ並木ー
宮城江古田会／星久美子（音楽）酒井健樹（放送）桑折洋一（放送）
石川江古田会／干場文夫（音楽）

撮影／石川江古田会／上腰正也（写真） 2020.08

「わいの隠れビュースポット」

岡山の方でも知らないだろう「金勢大明神」由緒深い珍宝子の神様で岡山県赤磐市西勢実にあります。ここの広場は上古（その昔）春秋二季に未婚の男女が集まり宴をした歌垣の跡だという。今ではもちろんそのような風習はなく、子授けや下半身の悩みを解決してくれるとのこと。鳥居代わりの男根柱を過ぎたら、入り口には八尺程の巨大な像が逸物を誇らしげに迎えてくれる。



鳥居・手水・賽銭箱までいちいちが男根、願いのかなった方が奉納した男根もたくさん、よく探すと女の子もありました。



興味津々な方、下半身にお悩みのある方はぜひお参り下さい。ちなみに岡山にはおっぱい神社（軽部神社：岡山県総社市軽部）なるものもあります。その他、日本のエーゲ海、牛窓町（多数映画のロケ地）のオリーブ園からの眺望、美咲町大坪和西（おおはがにし）の棚田夕景、苫田郡鏡野町最北端・滝が裏からも見られる裏見の滝（岩井滝）もオススメ。探せば見どころは尽きません。

会長 竹本栄吉（写真S51・1976年度卒）

白玉の歯にしみとほる秋の夜の

酒はしづかに飲むべかりけり 牧水

宮崎県は焼酎生産量日本一、消費量は鹿児島県に次ぐ第二位の焼酎の国です。宮崎で酒といえば日本酒でなく芋焼酎を指します。芋独特の風味を味わう飲み方としては、お湯割り。お湯の入ったグラスに好みの焼酎を注いだその瞬間、芋独特の香りがフワッと湧き上がるのは、宮崎の焼酎好きにとってまさに至福の時。近年、宮崎でも暑い日だけでなくだれやみにロック、ハイボールという飲まれ方も好まれています。少しですが宮崎で愛されている焼酎の逸品を紹介いたします。

霧島酒造の黒霧島

ご存じの方も多いと思われます。「トロツときりつ」とのキャッチコピーのごとくトロリとした甘味、キリツとした後味、コクのある味わい飲みやすさですべての方に愛される焼酎です。TV番組でナインティナインが一番うまい焼酎は何かと東京の飲み屋さんを巡り一位に取り上げられたのが「黒霧島」。この番組あたりから日本中で「黒霧島」の人气が高まり霧島酒造の売上げを日本一に押し上げました。しかし地元の方は飲みやすさよりも昔からの味、芋の香りの高い焼酎、「白霧島」とか「本格霧島」(宮崎限定)を飲まれる方が多いようです。

宮田酒造の日南娘

日南の大堂津で生産。ここ10年くらいで人气が急上昇。「日南焼酎」の特徴である、飲みやすく後味がスッキリした芋焼酎で柔らかな味わいとふくよかなイモの甘さを感じられます。お湯割りではやさしくまるやかな口当たり、さらにスッキリとした後味。ロックでは飲み易さが増しつつ、「日南娘」が持つ芋の旨味もしっかり堪能できます。つい飲みすぎてしまう旨さです。



岩倉酒造の月の中

宮崎でも大変入手困難な焼酎。「月の中」(つきんなかと読みます)を生産している岩倉酒造は麴造りから、仕込み、蒸留、瓶詰、出荷までほぼ家族4人で行われている家族経営の小さな蔵です。正に「手作り芋焼酎」なのです。蒸かした芋のやさしい香りと甘味があり、口に含んで飲み込んだ瞬間まで甘みが残る、その後スッと消えていくうまさです。やわらかく飲みやすさも抜群です。お湯割りがうまう、あたたかく落ち着いた味わいに中に程よい甘さが印象的です。すぐに次の一杯が恋しくなるような旨さです。

以上 逸品のほんの一部しか紹介できないのは残念ですがぜひ宮崎の焼酎をお試しあれ。

「おらが街・糸島」

6月にコロナ禍で、総会は中止。10月に予定していた、アート展と総会も、コロナ禍の第2波で中止。今後の活動は、白紙ですが、オンラインか紙面上でのアート展開催を計画しています。詳しくは、studio-u@w8.dion.ne.jp裏辻憲康まで。

さて、私の住んでいる街は糸島市です。東京から移り住んで十数年。大都会福岡から車で約1時間の利便性があり、農業・漁業が盛んな田園都市です。福岡に住みたい街ランキング1位に輝きました。

糸島は、魏志倭人伝の伊都国であり、平原古墳から最大級の銅鏡が出土したことから、一時は邪馬台国の卑弥呼の墳墓と言う説もありましたが…、あちらこちらに古墳が点在しています。

近くの高祖神社では、年2回昼神楽と夜神楽が行われています。宮崎の高千穂峡の神楽は有名ですが、ここ糸島でも行われているとは、東京しか知らない田舎者にとっては、古代のロマンと歴史の玉手箱です。



花の名峰・井原山は、九州最大級のオオキツネノカミソリの群生地です。



また、風光明媚な山は立石山で山頂からの眺めが、玄界灘を泳ぐ亀のようで、浦島太郎になった気分になります。

糸島半島の名物と言うより福岡の風物詩の牡蠣小屋は、毎年、冬に山仲間と二千元会費で牡蠣の食べ放題、牡蠣が夢に出てくるほどです。

会員制の米づくりの会、山に道標を立てる会、オオキツネノカミソリを守る会と、都会生活を離れて自然と共に老後の生活を楽しんでいます。

コロナ禍で生活様式も変化しています。都会の生活よりも田舎暮らしも一考かと思います。

事務局長 飛嶋慶一 (写真544・1969年度卒)

熊本江古田会

2020年は歴史に残る年になりました。新型コロナの流行、東京五輪の延期、各地の江古田会と同様に熊本江古田会も今年7月の総会は中止、さらに創設35周年記念展も延期と私たち会員にとっても記憶に残る年になりました。

ところで今年の熊本は7月の県南での大雨被害、それに台風9号、10号と立て続けに自然災害に見舞われています。

そんな熊本も地震から来年4月で5年を迎えます。大きな被害を受けた熊本城の復興作業は少しずつ進み、今年6月からは城内に特別見学通路が設けられ（地上6m、ヒノキ張り）今まで見ることが出来なかった城内の被災した櫓や石垣を直接見ることが可能になりました。

熊本城は私にとって子供の頃の遊び場、中学校はお城を見上げる場所で1960年（昭和35年）に天守閣の再建、さらに高校は城内二の丸。お城はいつも身近な存在でした。日芸時代もよく宿題の撮影に訪れた大好きな場所、ほとんど人が行かない静かなスポットは激しく壊れたままで新通路からわずかに見えますが、そこに立つことは不可能です。来年春には天守閣内部の見学が出来る予定です。「皆様に足をお運びください」とご案内したいところですが、あのコロナがどうなっていますでしょうか。今もお城の撮影は続いています。

会長 奥村隆志（写真543・1968年度卒）



福島江古田会

日本の夏の楽しみは何と言ってもお祭りです。我らが地元、郡山市も毎年「ビール祭り」「うねめ祭り」の2大夏祭りが地元を熱く盛りあげてくれます。しかし今年は新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの夏祭りイベントが早々と中止を決定。イベントやエンタメを生業としている仲間たちも仕事を失ってしまいました。

なんとか先の楽しみを作れないか、仲間たちと模索する中、バブル期に流行した「ドライブインシアター」が3密を防ぐ取り組みとして復活しているというニュースを発見。これだったら安心して夏のイベントが開催できると飛び付きました。

早速5月に有志で実行委員会を発足。私は副実行委員長に就き事業として動き出しました。当初は映画だけだったのですが、地元飲食業の支援にもなればと思い、地元グルメを販売するドライブスルー実施も決定。行政の支援もいただき、いつの間にか地域の一体感が生まれていきました。

ふくしま江古田会の先輩にもご協力をいただきました。鈴木則雄先輩（音楽）からはFM送信機の無償提供、酒井泰彦先輩（放送）は勤務するテレビ局で告知CMをいい時間で流してくれました。おかげでチケットは即完売、企業協賛も多く集めることができました。



そして、8月14日・15日郡山市カルチャーパーク駐車場にて「ドライブinフェスタ郡山（<https://driveintheater-f.com>）」が開催されました。当日はサプライズ花火の演出も加わり大盛況。来場した皆さんは感動時間を共有し、新しい楽しみ方を満喫されました。ちなみにこの事業は3年続ける予定。来年はコロナ禍が無事終息し安心した環境の中で開催できることを願うばかりです。



田中聡（美術H元・1989年度卒）

「マンゴーの森」

「とまじい。めっちゃ、おいしかった」「ヤバイ、ヤバイ。うますぎ」アップルマンゴーを食べてすぐ電話で伝えてきた、大阪の孫二人の感想だ。因みに「とまじい」とは、トマト好きのじいちゃんのこと。私が孫たちに呼ばせているあだ名だ。

お盆休みに誰も帰省しないので、妻と二人GOTOを使って指宿に連泊した。その2泊目、勝手知った指宿ゆえホテルで暇を持て余していたら、パンフレット棚に鯉節ラーメンの店とマンゴーの観光農園の案内があった。昼飯とデザートだと出かけた。鯉節ラーメンはまずまず、期待はデザートへ。鹿児島最南端、『フラワーパークかごしま』のすぐそばに観光農園『マンゴーの森』があった。案内に写真が載っていたマンゴー白熊は必須だった。(白熊とは鹿児島の代表的なかき氷のこと。鹿児島から上京した田舎娘が、鹿児島では暑くなると白熊を食べると言い江戸者をびっくりさせるとは定番のお話。) そのうまさは衝撃だった。南国特有の濃厚な香りと味が、ねっとりとした食感とともに口中に広がるのだ。マンゴージュースがたっぷりと掛けられ、マンゴーの果肉がトッピングだけでなく、かき氷の中にも贅沢に埋まっているのである。これで1200円。『マンゴーの森』ではアップルマンゴーを隣のハウスで栽培しており、中玉3個で8000円、大玉2個で7000円と、通常の半値ほどで買える。そうすると盆でも帰省できずにいる孫たちに送ってやることになる。そして冒頭のセリフである。



この文章を書くため、『マンゴーの森』の責任者に掲載の了解を貰い、マンゴー白熊のうまそうな写真も撮ろうと、台風10号が過ぎ去った8日に出かけた。しかし、店は閉まっていた。近くの信号機が消えていたので、台風の影響だろう。あのうまいマンゴーを食べるつもりでいたので、検索して近くのマンゴー農園を訪ねた。やはり信号機は点灯していなかったが、農園は開いていた。『トロピカルファーム山川』である。ハウスの入口に平べったい籠を置き、3人の若い女性がいた。聞くと「停電で冷蔵庫が使えず、傷んでしまうので半値以下で売っている」と言う。とほほの人たちを尻目にうほほである。アップルマンゴーの他に珍しい数種類のマンゴーも買い込み、家で冷やして食べた。めっちゃ、おいしくて、ヤバかった。

●マンゴーの森 〒891-0513 鹿児島県指宿市山川岡児ケ水1332-4 電話0993-35-0032 ※年中無休

会長 中野順 (映画S46・1971年度卒)



おらが町のサクランボ

山形の果物を代表するのは、「さくらんぼ」です。「さくらんぼ」の収穫は6月から始まります。種類があり、「佐藤錦」が有名です。甘味と酸味が絶妙で果肉が薄く、人気があります。山形駅が「さくらんぼ」一色になります。収穫時期に合わせて、種類を変えます。

私が好きなのは、「ナポレオン」という種類です。酸味が強く果肉が厚く、収穫量が少なく、あまり出回っていませんが、何故か好きです。

6月の第二土曜日に、山形江古田会総会を開会するのには理由があります。「さくらんぼ」の収穫に合わせました。暦の関係で1日ずつ、ずれてしまいましたが、今年は一致しました。しかし、中止になりました。残念です。次回、会員の皆さんとお会い出来るのを、楽しみにしています。

支部長 横倉晋也 (美術552・1977年度卒)



佐賀江古田会

佐賀県は廃藩置県後に様々な県名を経て、明治16年、当時の長崎県から独立して生まれた県です。故に小さな県なのです。

かつて米の生産高日本一を誇り、第一次産業で食べていたため、自らをPRする必要もなく自慢話が不得意な県民性です。

そんな佐賀県民の自慢話を少しばかり…。

荒波の玄界灘と静かな内海の有明海と云うタイプの違う二つの海を有し、玄界灘ではイカや鯛、有明海ではむつごろう等の珍魚。他にも竹崎のカニなど豊富な魚介類が味わえます。

今や佐賀牛も全国区のブランド商品です。

米どころ佐賀には美味しい銘酒が沢山。梨、みかん、イチゴなどの果物やアスパラガス、大豆、レンコン、玉ねぎなどの野菜の生産も盛んです。

17年連続生産量・日本一を誇る有明海の家苔。

その他、実に豊富な食材を使った料理は磁器発祥地の有田の陶器や土ものの唐津焼に盛り付けられます。

また長崎に近い関係で江戸時代から根付く菓子文化。小倉から続く旧・長崎街道はシュガーロードとも呼ばれています。

大陸にも近くて吉野ヶ里などの歴史的遺跡も数多く、唐津くんちや佐賀熱気球大会などのイベントも知られています。

更には嬉野や武雄、古湯などでは温泉も愉しめます。

今日は、温泉地・武雄市の「なかます旅館」と県都・佐賀市の「旅館あけぼの」を紹介します。いずれも日芸出身の宿です。

武雄温泉には、東京駅や日銀本店を設計した佐賀県出身の辰野金吾作の楼門が在り、天井には干支が4つ、残りの8つの干支は東京駅のドームにあると云う興味深い関連性もあります。

佐賀市は江戸時代、鍋島36万石の城下町として栄え、明治維新には大隈重信を初め多くの偉人たちを輩出しました。

市内には、八百体以上・その数日本一の恵比須さんが満面の笑顔で皆さんを温かくお迎えます。どうぞお出かけ下さい！

☆なかます旅館・武雄市武雄町大字武雄7377

(☎0954-22-3118) (社長・田中隆一郎 演劇52年卒)

☆旅館あけぼの・佐賀市中の小路3-10

(☎0952-24-8181) (社長・音成日佐男 放送54年卒)



北海道江古田会

秋だ！北海道へ来るといいべさ！

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら北海道江古田会の総会が中止となりました。

そこで、これからが観光シーズン本番を迎える、北海道の魅力をご紹介します。

まず、北海道の空の玄関、新千歳空港に到着すると、そこからJRでおよそ30分ほどで、190万都市、札幌市に到着です。

札幌市では、まず全国3大ガッカリのひとつに数えられている、ビルに囲まれた時計台がお迎えします（そんなにガッカリはしないと思います）。

近くには、旧道庁赤レンガ庁舎、テレビ塔があって、市民の憩いの場所、大通り公園（名物のとうもろこしを食べる）、市内を一望できる冬季札幌オリンピック（1972年）の大倉山シャンツェ、札幌ドームが望める羊ヶ丘（当然羊がいます）、クラーク博士の銅像がある北海道大学など見所満載です。

その他、札幌市から車で約7時間走らせると北方領土がすぐそこに見える、根室の納沙布岬に到着、何もなくて風だけ強い襟裳岬（特産の短角牛とツブ貝はおいしい）、最近オープンした、白老町のウポポイ（アイヌの人たちの資料が満載）、札幌市から車で約5時間、ソビエトのサハリンが見える日本最北端の稚内市宗谷岬、北海道の中心部、美瑛町の美しい丘とエメラルドグリーンの青い池、世界遺産の知床（エゾシカ・キタキツネ、たまにヒグマに会えます）。



日本最北端の宗谷岬にて

また、東京以北最大の歓楽街「すすきの」が皆様の欲望を満たしてくれます？

食べ物、毛がに、とうもろこし、ホッケ、ラーメン（札幌はみそ・旭川はしょうゆ・函館は塩）、スープカレー、ジンギスカン、小樽市の寿司、100万ドルの夜景の函館市では、生きているイカのさしみ、帯広市の豚丼、ジャガイモバター、猿払村のホタテ、厚岸町のカキなど海の幸、山の幸などおいしさに満ち溢れています。

皆さん、是非、秋の北海道で心も身体もリフレッシュしてみても、いかがでしょうか！

会長 氏家曹一（放送52・1977年度卒）

卒業生ストーリー

「今、ここで。」

写真学科 S53年 1978年度卒業 光尾豊



原子力空母カール・ビンソンと隊列を組む米駆逐艦、海上自衛隊護衛艦(2018年3月、沖縄沖の太平洋で=光尾豊撮影)

昭和から平成、令和へと時代は移り、新聞記者の原稿執筆は原稿用紙からワープロ、さらにパソコンへ、写真撮影もフィルムからデジタルカメラに進歩した。しかし、記者の目的は今も昔も変わらない。「特ダネ」を探して老体にむち打ち、今日も現場を走り回る。

読売新聞東京本社の記者として、神奈川県横須賀支局で勤務しています。管内に読売の記者は私1人で、地元選出の小泉進次郎環境相から三浦半島のキャベツ、ダイコンまで何でも取材します。中でも、横須賀に基地がある米海軍や海上自衛隊への取材は、中国の海洋進出、北朝鮮の核・ミサイル開発などの脅威が増している現在、ますます重要になってきました。

1975年4月、文芸学科に入学しました。元々カメラマン志望で写真学科に入りたかったのですが、入試に失敗。さあ、どうする。浪人して再挑戦するかとも考

えましたが、3月に文芸学科の入試を受け、何とか合格しました。長兄が演劇学科、次兄は文芸学科と、いずれも日芸卒で、2年進級時に転科試験を受けることが出来ると聞いていたので、1年間は授業に集中しました。

とはいうものの、所属した日芸野球部や他の運動部の同期、先輩らとの練習後の付き合いは(時には理不尽な仕打ちもありましたが)楽しく、部活動も夏合宿を経て、毎週土、日曜日に行われる秋のリーグ戦から試合に出られるようになり、充実した学生生活を送りました。

転科試験の内容はほとんど記憶にあり

ませんが、面接で「語学は得意か」と問われ、本当はそうでもなかったのですが、好印象を与えたくて「得意です」と答えたことは覚えています。無事転科試験に合格し、2年からは写真学科で学ぶことになりますが、転科できたことに満足してしまい、授業をおろそかにしてしまいました。ゼミの教授で野球部顧問だった弓削重久先生には迷惑をかけっぱなしで、今思い出しても汗顔の至りです。

1979年3月に卒業後、カメラマンの修業をしようと、スタジオアシスタントをしましたが、能力も根性もなく1か月で挫折。地方紙の記者を経て1989年、33

YOKOSUKA



「海自の歌姫」三宅さんと
(2019年12月、横須賀市内で)

歳で読売新聞大阪本社に入社しました。島根県益田市の益田通信部を振り出しに支局、通信部と本社を数年おきに行き来し、高松市や広島市、松江市など引っ越しは12回を数えます。長男は小学校3校、長女も2校転校させました。途中から地方に出る際は単身赴任とし、年に何度か兵庫県三田市や大阪府高槻市の自宅に帰ると、子供たちの成長ぶりに目を見張りました。成長期のほとんどを父親不在にしまい、家族には迷惑をかけたと申し訳なく思っています。

皆さんがよく耳にする「特ダネ」の逆で、他社が一斉に伝えているのに、1社だけ載っていないのを「特オチ」と言います。詳細は省きますが、呉支局時代に味わった「特オチ」は、他社が動いていると分かっているながら、取材先キーパーソンが雲隠れして裏が取れませんでした。ジリジリしながら締め切り時間を過ぎ、未明に本社から知らされた他社の最終版や支局に配達された地元紙を前に、「記者失格」の言葉が頭を巡りました。今も夢に出くるほどの苦い経験です。

その一方、この仕事を長く続けていると楽しい取材もあります。第一線で活躍する日芸出身者との出会いもその一つで

す。報道カメラマンとして第4回日芸賞を受賞した「不肖・宮嶋」こと宮嶋茂樹さんは、私より5歳年下で学生時代には面識はありませんが、自衛隊などの取材先で見かけるうちに言葉を交わすようになりました。

2018年10月に写真集「鳩と桜 防衛大学校の日々」を出版した宮嶋さん取材した際は、本人が発表している著作物の文体からは想像もできない丁寧な応対で、イラク戦争や南極観測隊など宮嶋さんならではの貴重な体験談に聴き入りました。被写体に対する姿勢、心構えは見習わなければならないと肝に銘じています。

自衛隊初の音楽隊声楽卒で入隊し、「海自の歌姫」と呼ばれる三宅由佳莉さんも第11回日芸賞受賞者です。三宅さんは2019年、米国、ペルー、オーストラリア、パラオなど環太平洋の11か国を訪問する遠洋練習航海に音楽隊の一員として参加した際、心理学者アドラーの思想をまとめた愛読書「嫌われる勇氣」を持参しました。

「寄港地のセレモニーで、訪問国の国歌を英語やフランス語、スペイン語で歌う緊張感は半端ではありません」と振り返り、そんな時には、本にあった「いま、ここに強烈なスポットライトを当てよ」



原子力空母ロナルド・レーガン艦長ら取材
(2016年12月、米海軍横須賀基地で)

の一文を思い出して乗り切ったそうです。今、この瞬間に誠心誠意向き合うことの大切さを知る三宅さんだからこそ、その透き通った歌声に触れた聴衆は心を癒やされるのでしょう。

それぞれの道を着実に歩んでいる卒業生に接すると、同じ日芸の庭で学んだ者として誇らしい気持ちになります。第一人者の足元にも及びませんが、私自身も取材現場で写真を撮影する機会は多く、日芸で身につけた知識に何度も助けられました。それは、55歳でいわゆる「役職定年」を迎えた2011年に、「もう一度現場で取材したい」と希望して赴任した横須賀支局でも変わりはありません。



写真学科

■助手の山田凌さん、グランプリ受賞

アートディレクターで「写真編集」担当の三村漢先生が主催するNineGalleryで第1回『9の穴』展が開催されました。この写真展は新たな才能にスポットを当て、写真作家への道をサポートする公募展です。20枚のポートフォリオにより、プロ、アマあわせて50人を超える応募者から運営委員が9名の「未完成でオリジナリティや未来性を感じさせる作品」を選び、更に三村先生がディレクションした4枚の作品で構成した9人の写真展でした。その展示の中から写真展を見に来た一般のお客様の投票によりファイナリストが1名決定しました。それが現在写真学科助手の山田凌さん（H31・2019年度卒）でみごとグランプリを獲得しました。今後1年にわたり三村先生のサポートのもと写真家として飛躍されることが楽しみです。この公募展は今後も継続されるということです。



左：山田さんの作品 右：講評中（後列右から2番目が山田さん）

■令和2年度前期オンライン授業開始

COVID-19、新型コロナウイルス感染症の世界的影響に伴い、前期授業がすべてオンラインで行われました。学生、教員ともにネット環境の整備、授業内容のオンライン化とめまぐるしい日々を過ごしました。夏期休暇に入り、実習授業が数日ではありますが面接型で実施されました。後期からはハイブリッドの形式で授業が行われています。教育環境の変化が急激に進み、新しい時代が始まったという状況です。



オンライン授業中の萩原先生（S59・1984年度卒）



映画学科

■コロナ感染症対策のため前期授業はすべてオンライン授業となりました。

学生の皆さんにも大変なご負担をおかけしましたが、映画学科教職員一同、慣れないオンライン授業の中で、教育の質を下げないように工夫・努力した次第です。

尚、後期の授業は、オンライン授業、面接授業の併用となります。ソーシャル・ディスタンスを確保した上での面接授業ですので、教室の都合によりオンライン授業でしか実施できない科目もあります。コロナ感染症が早期に収束し、平常授業ができることを願っております。

■コロナ感染症対策のため、監督コース、撮影・録音コース、演技コースの卒業制作、3年実習作品の上映会「フォーカイン」は中止となりました。

毎年12月に開催されている映像表現理論コースの「映画ビジネス」による映画祭は、例年通り行うべく計画しています。今年度も渋谷の映画館で行う予定です。

■オンラインオープンキャンパスに2本の動画が公開されています。

映画学科でも『映画学科紹介』『映画学科入学者選抜』の2本の動画が紹介されています。

日本大学芸術学部のホームページ上にあります。

是非、ご覧ください。





美術学科

■嶋村有里子講師「第1回始弘賞」受賞

表参道に長年ギャラリーを構え日本画壇を支える有力な画家たちの展覧会を企画・開催してきた始弘画廊が、日本の文化の発信に貢献し、精力的に制作を続ける若手作家の活動を支援するために「始弘賞」を創設。俳優の寺田農氏と平塚市美術館館長代理の土方明司氏、始弘画廊の平山幹子代表・平山俊信氏による審査が行われ、第1回始弘画廊大賞に嶋村有里子非常勤講師（'02年絵画卒）が決定した。受賞記念として同ギャラリーにて9月28日から10月10日まで個展が開催された。

■「はたちのりんかく」自画像コンクールにて数々の受賞

北海道十勝地方にある中札内美術村の企画公募による二十歳の若者の自画像コンクール「はたちのりんかく」2020に玉利奈津実さん、田口舞さんが入賞。他に中村沙月さんが求龍堂賞、説田香穂さん、小崎菜々花さんがクサカバ賞、CHEN YI SHUANさん、池澤翠さんが名村大成堂賞をそれぞれ受賞した（以上7名とも学部2年在学）。作品は中札内美術村「北の大地美術館」に展示予定。

■第38回上野の森美術館大賞展に興安さんが入選

38回目を迎えた上野の森美術館大賞展に興安さん（院造形専攻2年在学）が入選した。将来の日本の美術界をになう個性豊かな作家を顕彰助成する「上野の森美術館絵画大賞」は昭和58年に制定され、以来毎年作品の公募を行う。今回は全国から1,012点（768名）の応募の中、140点（140名）が入選。新型コロナウイルス感染拡大防止等の対策として会期が延期され、上野の森美術館にて6月1日から11日に開催された。

■第11回飛騨高山国際現代木版画トリエンナーレ2020

造形芸術専攻版画分野1年RA JIMIN（ラ ジミン）さんが奨励賞を受賞。26の国と地域から61作品が入賞・入選。



「Going Home」木版 53.5×88.5cm



音楽学科

■オンラインオープンキャンパスを開催しました

令和2年度のオープンキャンパスは7月23日（木）～25日（土）の3日間、オンラインを通じて開催されました。音楽学科はビデオ通話を用いた個別進学相談会、ワンポイントレッスンの他、YouTube Liveによる模擬授業、情報音楽コース学生による演奏会の生配信等を行いました。当日開催した各種イベントのアーカイブは、日本大学芸術学部公式ホームページのオープンキャンパス特設サイト、または以下のURLよりご覧いただけます。（<https://musicassociation.wixsite.com/nuaooc>）

■弦管打楽コース公式ホームページを開設しました

オンラインオープンキャンパスの開催に合わせて、弦管打楽コースの公式ホームページが開設されました。コースの詳細の他、定期演奏会やオンライン授業の様子など、様々なコンテンツをご覧いただけます。（<https://www.nuamgenkanda.info/>）

■令和2年度 音楽学科主催演奏会について

音楽学科主催演奏会及びイベントの情報については、音楽学科公式ホームページにてお知らせいたします。以下のURLより最新情報をご確認ください。（<http://music.art.nihon-u.ac.jp>）





文芸学科

■在学生の犬君雀さんが「サンタクロースを殺した。初恋が終わった。」で第14回小学館ライトノベル大賞〈優秀賞〉を受賞

文芸学科4年の犬君雀さん（ペンネーム）が、小説「サンタクロースを殺した。初恋が終わった。」で第14回小学館ライトノベル大賞〈優秀賞〉を受賞しました。受賞作は『サンタクロースを殺した。そして、キスをした。』に課題され、2020年6月23日に小学館ガガ文庫にて発売されました。

■在学生の中村侑寛さんが「第16回コピー大学賞」にてグランプリを受賞

中村侑寛さん（文芸学科4年生、PN：中村侑季）が、「第16回コピー大学賞」（コピー大学主催）にてグランプリを受賞しました。受賞作等、詳細は下記サイトにてご覧いただけます。

【第16回コピー大学賞 結果発表】

<https://award.copywriter-college.com/16thresult/>

■第36回日本文芸賞を、文芸学科関係者が総ナメ！

幅観月さん（卒業生。文芸学科事務室勤務）「黄色の瞳」が、第36回日本文芸賞（日本大学新聞社主催）を受賞しました。また、入倉直幹さん（卒業生）「紫色の汀」が優秀賞、高橋優さん（卒業生）「未だ見ぬ母へ」、佐藤述人さん（卒業生。文芸学科資料室勤務）「レプトン銅貨を二枚」、渡辺銀次郎さん（卒業生）「ノラや」を読みながら」が佳作を受賞しました。幅さんの受賞作品は、日本大学新聞7月号に全文掲載されています。

■前田龍之祐さんの評論が『S-Fマガジン』8月号に掲載

令和元年度卒業生の前田龍之祐さんの評論「『ユートピアの敗北』をめぐる 山野浩一『小説世界の小説』を読む」が、『S-Fマガジン 2020年8月号』（早川書房 2020.6.25発売）に掲載されました。

■文芸学科教員の新刊紹介

山下洪文『よみがえる荒地 戦後詩・歴史の彼方・美の終局』（未知谷 2020.6.25）



演劇学科

■コロナ禍における演劇学科実習発表及び卒業制作発表

演劇学科の実習を中心とした授業は、特に密閉、密集、密接という3密が揃いやすい環境であります。このことを演劇学科全教職員と学生が共に理解し、大学本部が定めたガイドライン、演劇学科独自のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染拡大予防に取り組み、オンライン授業と対面授業を併用しながら、下記の日程で実習発表及び卒業制作発表を、映像配信等を含めた新たな形で社会に発信していきます。

○総合実習ⅠA（2年演劇） 9月24日（木）～9月25日（金）

○総合実習ⅠD（2年演劇） 10月8日（木）～10月9日（金）

※上記2公演は映像配信のみ（一般公開せず）

○総合実習ⅢB（3年洋舞） 10月16日（金）～10月17日（土）

○総合実習ⅡC（3年日舞） 10月23日（金）～10月24日（土）

○総合実習ⅡA（3年演劇） 11月1日（日）～11月3日（火）

○上演実習Ⅲ（3年演劇） 11月1日（日）～11月3日（火）

○総合実習ⅠB（2年洋舞） 11月13日（金）～11月14日（土）

○総合実習ⅠC（2年日舞） 11月21日（土）

○卒業制作（演劇） 12月4日（金）～12月6日（日）

○卒業制作（洋舞） 12月11日（金）～12月12日（土）

○卒業制作（日舞） 12月19日（土）～12月20日（日）

○総合実習ⅡB（3年洋舞） 3月5日（金）～3月6日（土）

○総合実習ⅢA（3年演劇） 3月19日（金）～3月21日（日）

※上演実習Ⅲのみ江古田校舎北棟小ホールでの上演、その他は江古田校舎北棟中ホールでの上演を予定。

※上記11公演は上演形態、日程等 変更の可能性あり

問い合わせ先

演劇学科事務室 03-5995-8260

演劇学科HP <http://theatre.art.nihon-u.ac.jp>



マスク、マウスシールド着用での稽古風景



放 送 学 科

■卒業生が「第6回 大山勝美賞」受賞

テレビ朝日所属の中込卓也さん（S62年度卒）がテレビドラマ「やすらぎの郷」（2017年放送）、「やすらぎの刻〜道」（2019年〜2020年放送）のプロデュース能力を高く評価され、第6回 大山勝美賞を受賞しました。

大山勝美賞は、日本の放送業界発展のために尽力された大山勝美さんの名を残し、その意思を継ぐために、60歳以下のドラマクリエイターに贈られる賞です。

中込さんは上記2作品の運営に、準備期間を含めると4年以上携わり成功させた努力と才能を評価されての受賞となりました。

■卒業生が文化庁芸術祭で優秀賞受賞

第74回 文化庁芸術祭・大衆芸能部門で卒業生の内藤和美さん（S49年度卒）が「内藤和美 読み語り」の成果が認められ、優秀賞を受賞しました。

内藤和美さんは現在、ラジオNIKKEI第1にて「朗読あぶり〜ページのない読書会〜」（毎週土曜日18時〜18時30分）のパーソナリティを務められています。この番組には他にもパーソナリティとして卒業生の斉藤由織さん、八川まどかさんも出演されています。

■石川県小松市立高校との夏のオンライン合同授業を実施

石川県小松市と日本大学芸術学部の包括協定に基づき、昨年から行われている小松市立高校との合同授業を、8月20日と26日の二日間、遠隔会議システムZoomを使用し、オンラインで行いました。

昨年は対面で行なったワークショップを、今年は放送学科の教員や技術員が機材を駆使し、新たな形での双方向授業を展開し、地元メディアにも取り上げられました。

■テレビスタジオの整備

江古田通年化に伴い、整備が進められていたテレビスタジオ2の4K収録システムが完成し様々な実習で使えるようになりました。また、テレビスタジオ1も長年使用した音声卓の更新を行いました。しかし新型コロナウイルスの影響で2020年度前期はすべての授業がオンラインとなってしまう、スタジオはほとんど稼働しませんでした。

8月からの夏期集中授業は、感染対策を十分に行った上での対面授業となり、スタジオでの実習も行われました。後期も実習科目は対面での実施が予定されています。



デ ザ イ ン 学 科

■池田光宏先生がデザイン学科の准教授として着任しました

池田光宏先生は、本学デザイン学科（旧美術学科 VCDコース）卒業後、東京藝術大学大学院を修了。美術館や公共空間などで様々なアートプロジェクトやコミュニケーションプロジェクトを中心に活動されています。主な展覧会として越後妻有アートトリエンナーレ、こどもハウス劇場（東京都現代美術館）などがあります。授業では1年のドローイング、2年のビジュアルランゲージ、3年の総合演習B、コミュニケーションデザイン史などをご担当されます。



■オンライン授業におけるデザイン学科の情報保障の取り組み

コロナ禍の影響により本学では前期の授業のほとんどが異例のオンライン（遠隔）授業となりましたが、その中でも当学科で試みている情報保障の取り組みについて紹介します。

本学科には現在耳の不自由な学生が在籍していますが、Zoomなどのビデオ通信によるオンライン授業では、音声进行を何らかの方法で文字にして配信する必要があります。そこで、当学科ではタブレットでGoogleの音声文字変換機能を使い、リアルタイムで音声で文字に変換され表示されているタブレットごとビデオ通信のWebカメラ画像に写し込めば、講義の内容を簡便に文字で伝えられることを「考案」しました（写真）。最先端の音声文字変換というAIテクノロジーをアナログ的に画面に写し込むというローテクながら有効な方法として活用しています。



タブレットの音声文字変換画面をZoomで配信している様子

日本大学芸術学部校友会各支部（江古田会）連絡表

各支部では参加者を募っておりますので是非皆様のご連絡をお待ちしております。

支部名	連絡窓口	卒業学科年度	連絡先
北海道江古田会	氏家 曹一	放送S52・1977年度卒	090-3468-6657
青森江古田会	高木 保	演劇S32・1957年度卒	0177-77-7708
秋田江古田会	仙北屋 昭弘	音楽S54・1979年度卒	090-2954-2283
岩手江古田会	佐藤 剛	演劇S53・1978年度卒	0197-25-5497
宮城江古田会	桑折 洋一	放送S55・1980年度卒	090-3752-8833
山形江古田会	横倉 晋也	美術S52・1977年度卒	023-631-8040
ふくしま江古田会	吉田 公之	美術S39・1964年度卒	090-5845-1724
新潟江古田会	増井 伸一	写真S48・1973年度卒	025-233-3910
長野江古田会	三浦 博之	放送S49・1974年度卒	0263-46-2583
愛知江古田会	藤田 勝	演劇H9・1997年度卒	090-1783-5103
石川江古田会	干場 文夫	音楽S50・1975年度卒	090-6273-4982
岡山江古田会	藤井 一也	文芸S53・1978年度卒	090-3177-0334
福岡江古田会	飛嶋 慶一	写真S44・1969年度卒	090-6953-5543
佐賀江古田会	光野 忠利	映画S40・1965年度卒	090-9659-0952
熊本江古田会	奥村 隆志	写真S43・1968年度卒	090-7169-2909
宮崎江古田会	米倉 史朗	写真S52・1977年度卒	090-1080-8082
鹿児島江古田会	堀之内 隆	放送S49・1974年度卒	090-3739-7374
中国江古田会	馮 建国	院H9・1997年度卒	—
台湾江古田会	林 舜龍	美術S61・1986年度卒	—
韓国江古田会	イ サンユン	院H8・1996年度卒	—

編集後記

新型コロナウイルス感染症の世界的流行はまだ終息をみず、2020年度の新入生は、9月15日の健康診断が、全員に登校が許される最初の日になりました。後期からは一部授業で教室での対面授業が復活しますが、残念ながら日芸祭は中止となりました。いつも通りではないこの年を、なんらかの貴重な体験として人生のプラスに変換できることを切に願います。(青木)

- 発行人 田上 竣詞
- 編集人 田中 光子
- 会報編集委員 小泉 定弘、山本 英史、高松 豊、安部 裕、茅原 良平、長瀬 浩明、青木 敬士、千北 正
- 表紙デザイン 美術学科絵画コース版画専攻2年 永田士朗
- 印刷所 江戸クリエート株式会社
東京都文京区本郷 3-43-16 コア本郷ビル
電話 03-3814-1225

8つのアート1つのハート



日本大学藝術学部

日本大学芸術学部校友会報・第105号

2020年秋季号 ●令和2年10月発行 ●

非売品

不許可転載

- 発行所 日本大学芸術学部校友会
〒176-8525 東京都練馬区旭丘 2-42-1
日本大学芸術学部に
電話 (03) 3554-5363
事務担当 星野 祥子

URL : <http://www.koyu.art.nihon-u.ac.jp>

メールアドレス : ekoda.koyu@gmail.com



i n f o r m a t i o n ■ 校 友 会 か ら の お 知 ら せ

校友会にはホームページ <http://koyu.art.nihon-u.ac.jp/> とツイッター https://twitter.com/nu_art_alumni があります。さらにホームページ内には、「校友ギャラリー」「校友たちの活躍」という校友の掲示板があります。是非ご活用ください。

ホームページ

<http://koyu.art.nihon-u.ac.jp/>



ツイッター

https://twitter.com/nu_art_alumni



編集委員から ◆◆江古田会◆◆

2020年春から新型コロナウイルスが瞬く間に広がり、各江古田会は総会を余儀なく中止にしなければならませんでした。今回は総会の報告ができませんので、ご当地の「おらが町の○○」のテーマで原稿を寄せていただきました。新型コロナウイルス感染症が落ち着きましたら、是非行ってみたいところばかりですね。2021年春発行106号も「おらが町の○○」がテーマです。お楽しみにお待ちください。

<百藝マスク>

会報誌104号でお知らせをした百藝手拭いですが、多数のお問い合わせ、ご注文を頂きましてありがとうございました。この百藝手拭いで、2枚のマスクが作れるそうです。ご興味のある方は是非お作り下さい。手拭いは1本500円(送料、振込手数料ご購入者払い)にて校友会事務局で販売しております。

お問い合わせ先

ekoda.koyu@gmail.com



2021年度一般入学者選抜A個別方式について

第1期 第1週

学科	試験日	試験場所
写真学科	2月9・10日(火・水)	芸術学部校舎
美術学科		
音楽学科		
演劇学科		
放送学科		

第1期 第2週

学科	試験日	試験場所
映画学科	2月16・17日(火・水)	芸術学部校舎
美術学科		
デザイン学科		
文芸学科	2月16日(火)	

第2期

学科	試験日	試験場所
写真学科	3月9日(火)	芸術学部校舎
文芸学科		
映画学科	3月9・10日(火・水)	
美術学科		
音楽学科		
演劇学科		
放送学科		
デザイン学科		

日藝のオンラインオープンキャンパスについて

芸術学部では以下のホームページにて「日藝のオンラインオープンキャンパス」を公開しています。8学科紹介及び入学者選抜に関する動画などを公開しておりますのでご覧ください。

日藝のオンラインオープンキャンパス

<http://www.art.nihon-u.ac.jp/admission/opencampus/>



また、オンラインオープンキャンパスの情報は随時Twitterでも周知していますので、併せてご活用ください。

公式Twitter (@nuartopencampus)

入試情報に関する詳細は芸術学部ホームページをご確認ください。

日本大学芸術学部ホームページ <http://www.art.nihon-u.ac.jp>

